

いしざれやま
石砂山 (578m) 山行報告

— 暑熱順化とヤマビル騒動の山行 —

- ・ 日 程： 7月12日(日)
- ・ 山 域： 神奈川県相模原市藤野町
- ・ 参加者 (敬称略)：三浦 (L)、加田 (SL)、河野、伊藤、岩井、望月、荻山、鈴木夫妻、金子、山下(ゲスト) 計 11 名
- ・ 行 程： 加田 SL 記録による
JR 藤野駅 9:25 = (タクシー) = 9:40 篠原集落 (ヤマビル対策・準備体操) ⇒
9:59 石砂山登山口 10:00 ⇒ 10:57 石砂山山頂 (昼食) 12:00 ⇒ 12:31 菅井分岐
12:36 ⇒ 12:54 伏馬田城跡分岐 13:00 ⇒ 13:27 伏馬田城跡 13:35 ⇒ 13:58 仁の
丘農園 (石砂山登山口) 14:15 ⇒ (県道 76 号山北藤野線 舗装路歩き) ⇒ 15:10
藤野やまなみ温泉 (入浴懇親会) 17:34 = (路線バス) = 17:49 JR 藤野駅
実働 5 時間 5 分

- ・ 所 感：
梅雨のひと休み、多少蒸し暑さもあるがここ数日天気の良い日が続いている。
先週 (5 日) の倉見山が雨で中止となったこともありまた 3 週間後の夏山も控え、
この時期低山で少々暑いかも知れないが暑熱順化も兼ね石砂山 (578m) に行くこと
になった。この山はあまり聞き慣れないが春には山野草やギフチョウの生息地とし
て知られているらしい。今回のメンバーでは誰も登ったことはないという珍しい山
である。

加田 SL の事前情報ではこの山はヤマビルが多くハイカーに被害をもたらしており
要注意の山とのこと。なるほど神奈川県 HP に “ヤマビルの被害を防ぐために”
の特別ページがありパンフレットが公開されている。今回の山行 L としては一応
そのページを参加者には事前に知らせておいた。私個人的にはこの天気続きでヤマ
ビルも日干しになっているだろうと高を括っていたが念のためエタノールと塩水、
防虫スプレーは用意して行ったがほとんど役立たずというか役に立てず。高を括っ
ていた甘さが後でしっぺ返しとなったのだがこのときは夢にも思わなかった。

9:18 着の電車で全員揃ったが、タクシー予約が 2 台なので先に着いた人から先に行
ってもらい 1 台はピストンで対応した。登山口近くの篠原集落の民家の庭先を借り
て何人かは加田 SL の指導でヤマビル対策 (スパッツを履きその上からガムテープを
ぐるぐる巻きして靴との隙間を塞ぐ) バッチリ済ませてから準備体操を終え登山口

へと向かった。道路を渡り小川沿いにしばらく行くと左側に小さな木橋があり石砂山登山口の立派な標識がありヤマビル注意を呼びかけるポスターが貼ってある。なんとなくヤマビルの存在を臭わせる雰囲気である。

10:00 加田 SL を先頭に登山開始、しばらく行くと先頭の方で騒ぎが起こっている。見るとゲスト参加の Y さんの靴にヤマビルが、何匹かいたようだ。加田 SL が食卓塩の瓶で塩をヤマビルにふり掛けている。確かに塩をかけるとコロッと落ちる。まさか塩をふって食べるのでは？それはあり得ない。途中何人かがなんどもヤマビルがズボンを這い上がってくるを見つけては小枝で落としながら歩いた。初めのうちは一番若いゲストの Y さんに取りついて、高齢者群にはあまりつかないのでヤマビルも若い血を好むのだ、また一番多く取りつかれた人にヒル（昼）大賞で表彰するなど冗談を言いながら歩いた。だんだん慣れてきてあまり騒がないで処理しながら歩いている。自分もズボンの外だけで合計十数匹取りつかれた。女性の M さんはすでに二十数匹つかれたと言っていた。山頂直下の階段の急坂を登り山頂に着いた。あまり広くない山頂にはテーブルセットが二か所あり他の登山者はなくわがグループの貸切状態この状況は下山するまで続いた。周囲は樹木に囲まれほとんど視界はない。若干石砂山標識の立つ西の方向に少し空間があり山並みが望める。

思い思いの昼食を済ませ菅井 BT めざし下山する。途中折角だから伏馬田城跡^{ふしまだ}に寄って下りた。城跡といってもその説明板はなくあの憲政の神様峯堂桜の説明盤が設置されていた。

城跡から 25 分ほど下る急に目の前にのどかな田園風景(仁の丘農園)が開けていた。若い子供連れの二家族が楽しそうにパーティをやっていた。

ヤマビル対策完全防備の人はここですっきり解除した。このころにはヤマビルのことはすっかり頭から消え、温泉とあとのビールを目指してやまなみ温泉に向かう。

仁の丘農園から県道 76 号山北藤野線舗装路歩き約 1 時間でやまなみ温泉に着いた。40 分ぐらいと聞いていたが予想以上に遠かった。ヤマビルの直接被害はなくてよかったと思い温泉の入り口で靴を脱ごうとして右足のズボンをめくったら靴下が赤く染まっている！ あれっ！赤い靴下を履いた覚えはないとズボンをさらに上にあげると脛が血で真っ赤、黒いものが付着している。さらに左足を見ると足首に黒いものがついており周りが赤く染まっている。さらにシャツを上にあげると右脇腹に一か所ヒルがついて赤い血が流れていた。加田 SL の食卓塩を掛けてヒルを除き吸われた箇所^{箇所}の血を絞り出して急いで温泉にはいった。普段なら直ぐ止まる出血がなかなか止まらずいつまでもだらだら流れている。それにしても、それまで痛くもかゆくもなくまったく気が付かずズボンの外を這い上がるヒルのみ取り払っていた。

その間体に付いたヒルは好き放題にわが血を吸っていたのだ。もっと長時間山の中を歩いていたら体中ヒルにやられていたかもしれないと思うとぞっとする。痛みやかゆみを感じないような液を出しているのだろう、感じたらすぐ取り除かれるのが分っているから、なかなか賢い。

それにしてもマダニのような毒性が強く、身体に入り込むようなものでなくて助かった。なぜ私だけに沢山取りついたのか疑問が残るが「ヒル大賞」确实となった。ヤマヒルを馬鹿にした、軽んじたしっぺ返しでした。私の血を吸ったヒルは死ななかつたことで安心しました。

この山を選んでリーダーを任された私の自業自得？ヒルを除けば悪い山ではないです。ほとんど樹林（杉林）の中の尾根と巻道で風が通り暑さは思ったほどではなかつた。展望がないのが唯一マイナス点かな？

帰宅してシャワーをした後にまた血が流れ出した。これを書いている今でも傷痕（吸われた箇所）はまだ赤くなっている。

2015.7.14 三浦記



加田 SL の完全防備



Yさん,Kさんのヤマビル対策完了

ヤマビルのしっぺ返し



ヤマビルがズボンに付いた！



血染めの靴下



伊藤さん写す



塩で退治 (6匹)